

会 議 録

会 議 名	辰野町商工業振興審議会		
開催日時	令和元年 8 月 6 日（火） 10 時 00 分から		
場 所	辰野町役場 第 2 会議室		
出席者 (敬称略)	辰野町議会 議員総務常任委員会 委員長 向山 光	出席人数	
	辰野町商工会 会長 檀原 隆宣 (会長)	審議委員	7 名
	辰野町商工会 副会長 三宅 正士		
	辰野町商工会 商業部会 会長 平島 久		
	辰野町商工会 工業部会 会長 秋山 良雄		
	辰野町商工会 女性部 副部長 大森 美佐子		
	八十二銀行辰野支店 支店長 小林 弘樹		
	辰野町		
	町長 武居 保男	辰野町	5 名
	産業振興課 課長 赤羽 裕治		
	企業支援室 室長 岡田 圭助		
	商工振興係 係長 野澤 隆生		
	企業支援係 専門員 小林 公貴		
欠席者 (敬称略)	辰野町商工会 女性部 部長 松井 夕起子		
	アルプス中央信用金庫 辰野支店 支店長 兼 宮木支店 支店長 北原 光		2 名
会議次第	1.開会 2.町長あいさつ 3.会長の互選 4.会長あいさつ 5.協議事項 (1) 平成 30 年度商工業振興事業報告と令和元年度商工業振興事業経過について (2) 辰野町商工業誘致及び振興補助金について (3) その他 6.閉会		
配布資料	別紙のとおり		

3. 会長の互選

審議会条例第4条の規定により委員の互選により決定

事務局 檀原隆宣委員を諮りたい。

他委員 異議なし 承認される。

5. 協議事項

(1)平成30年度商工業振興事業報告と令和元年度商工業振興事業経過について 説明

○質疑応答

向山委員 後継者がいなくて廃業となると、そこにある技術力も消えてしまう。

小規模事業者をどのように維持、育て、つながっていくか。そういった視点からの分析もしてもらえれば。

三宅委員 商工会工業部会でも近隣の町村と意見交換をしたなかで、共同受注について検討している。非常に良いもの考えているが、役場としてはどのように考えているか。

事務局 誰が代表になり振り分けるかなど難しい面もあると思うが、上手く回る方法を検討したい。企業間取引は信頼関係で成り立っている面もあるので、辰野町として受けてくれるところがあるかがポイントかと思う。

向山委員 逆に言えば諏訪のようなブランド力があるところに参画して実績をあげていく方法もある。辰野町だけにこだわると限界が出てくる。

檀原委員 企業の多くは、事業の承継も大事だが資金のこともあり銀行へ相談に行く。借金をしている企業の代表になると経営者本人が保証人とならなければならない。保証人になりたくない人が大半のなかで、同属でないと経営者の交代がなかなかできない現状がある。こういった相続、資金の問題をシビアに考えてもらい、行政、商工会、銀行が連携して取り組まなければならない。

事務局 事業承継は資金や家族など様々な問題もあり、そこで働いている人や技術をどうするのかなど色々な段階がある。企業ごとに話を聞いて金融機関とも連携をとって取り組まなければならない。

檀原委員 実践型インターンシップについては参加企業の業種や地域に偏りがあるように見受けられる。

事務局 制度の設立当初から辰野町はものづくり産業の町と認識のもと、製造業には声をかけ続けている。県外の成功事例や、辰野町のインターンシップは企業・学生間のコーディネートが充実しており国のモデル事業に選ばれていることなどをPRしているが、負担感を否めないのが現状。工業の一社目が現れないなかで引き続きPRをしていく。

他地域で成功しているのは経営相談、経営計画のなかに目的ではなく手

会議結果

段のひとつとしてインターンシップを活用している手法。

檀原委員 商工会でも国の補助金の採択を受けるために、経営指導員のもと経営計画を製造業2社に作ってもらっている。町と商工会が連携してこういった計画にインターンシップを活用してもらえれば。

人材確保が難しいという話が出たなかで、高校、短大とあるなかでほたる祭りなどのイベントだけではなく関係性をもったほうがよいのでは。今後は工業だけではなく商店やコンビニといった商業、飲食店などにもアンケートをとって、バックアップしてもらいたい。他には子育てしながら働きたい人への場所の提供などはどう考えているか。

事務局 人材確保については、求人インターンシップ情報サイト「たつのシゴト」で顔の見える形で企業を紹介したり、ハローワークのオンライン情報提供を行っている。先日もたつのシゴトの求人情報も持って、長野県が企画する楽園信州移住セミナーに行ってきた。引き続きある情報を発信していく。

子育て世帯への就業支援については、イーキュアという企業が県から委託を受けて辰野町でも月に1回茶の間と子育て支援センターで女性の就業相談を行っており、引き続きPRしていく。

商業の部分については、商業地域等空き店舗対策事業や休眠不動産見学会などを新規の事業者に来てもらう事業を行っている。既存商店へのアンケート調査などは行ってないので今後は必要と考えている。

小林委員 企業訪問結果を見ると廃業予定が2割、未定を含めると4割強。我々銀行も企業には外に出て行ってほしくないし事業承継するにしても他地域ではなく地域のつながりのなかでという思いがある。雇用の確保、技術の継承など目指すところは同じなので町と一緒に盛り上げていきたい。

向山委員 資料33P「辰野町への要望」に「固定資産税などの税金が他市町村に比べ高い」とあるが、実際は全国一律の税金なので高くはない。高いと認識されるのは都市計画税。色々な場所で説明をしていくことが大事。

檀原委員 下水道の負担金は面積割で他市町村と比べて高い。

向山委員 役場全体で情報共有をして高いものは見直しを行っていくべき。

(2)辰野町商工業誘致及び振興補助金について 説明

○質疑応答

檀原委員 誘致だけではなく町内企業にも手厚くして、他へ出て行く企業、廃業する企業をなくすことが第一。

事務局 制度を知らずに活用してもらえないことがないように積極的にアナウンスしていく。

	(3)その他 閉会
	11 : 50 終了